

## 1 学期始業式講話

おはようございます。

まずは皆さん進級おめでとうございます。新3年生と新2年生となったわけです。午後の入学式には後輩たちが入ってきます。いよいよ先輩としての自覚をもつこととなります。そして今日から令和8年度新学期が始まります。春休みはあっという間に過ぎたのではなかったでしょうか。新年度最初にいつも伝えていることは3つのことですが、皆さん覚えていますか。

一つ目は授業を大切にしようということです。これは特に運動部の方で時間がなくて、家庭学習もままならない人には特に呼び掛けていることです。疲れて自宅で勉強する時間がないならば、なおさら授業は集中して聞いてほしいと思います。

二つ目は友だち、人を大切にしようということです。人を認めるということですね。自分の言動が相手を傷つけていることがわからない人、誰かが自分の悪口を言っているのではないかと疑心暗鬼な人、こうした方々には是非とも頭に入れてほしいと思います。海外探究研修で行く国はみな多民族、多人種、多宗教の国々です。そこでは人を認めあう習慣が根づいているからこそいじめも少ないし、人間関係が良好を保つことができます。新3年生は昨年それを感じてくれたと思います。

三つ目は失敗をしようということです。これは一見マイナスイメージを持つかもしれませんが、失敗するという事は挑戦することと捉えていただければいいと思います。失敗なくして成功はありません。おおいに挑戦してほしいと思います。

以上3つのことを覚えていてください。

さて、本日の話は本校の探究学習です。昨年度3年生の面接練習をした際に、スポーツ探究科の生徒でしたが、高校時代に思い出になったこととして、サッカー部に入って頑張ったことをまず挙げ、次に本校の探究学習について触れていました。サッカーをやるために富士市立高校に入学したけれども、究タイムをはじめとする探究学習が面白くて、本校に入学して良かった旨を面接で話してくれました。

県立高校では総合的探究の時間は週1時間で、本校は究タイムと称して週2時間設けています。この探究学習は、今から20年も30年も前にアメリカの研究で紹介されてきました。民間企業でもこの話を聞いて当時から注目していました。2008年のリーマンショックはこれまでの教育観が大きく見直され、探究学習を文部科学省は推進するようになりました。本校は早くから取り入れてきたといえます。

そこで培ったコミュニケーション力やプレゼンテーション力は企業や実社会が望んでいる力です。珉さんは中学生時代に本校の3年生が訪問して自分スピーチを聞きませんでした。先輩たちの自分の過去から未来を見つめて生きていくことを話す内容に一番驚いたのは中学校の担任でした。「こんなに話せる子ではなかった」「どうしてこんなに変わるのか」

といった意見をいただき、本校の教育成果を自慢したくなるような反応でした。

この本校における探究学習は、実は警察学校でも同じようなことを行っていました。今から10年以上前に、私は藤枝にある警察学校の副校長を勤めていました。警察官は試験に合格してすぐに交番勤務するわけではありません。高校卒業なら10か月、大学卒業なら半年間は警察学校で勉強をします。何を勉強するかというと刑事訴訟法や憲法、道路交通法といった法律です。これを知らないで路上で切符を切ることはできません。しかも試験に不合格でその科目が多いと辞職しなくてはなりません。だから必死で勉強します。

私はそうした中で「コミュニケーション」という授業を担当しました。県内の副校長は授業をしますが、唯一警察学校の副校長は授業をします。そこで行った内容は、ブレインストーミング、ディベート、3分間スピーチといった本校の究タイムで行っていることをやっていたんですね。つまり警察官が社会に出て通用するような教育を行っているんです。本校に来て非常に驚きました。ですから本校の究タイムをやるということは、卒業して社会に出てすぐに使える教育をしているということになります。それでももっと極めたい人は大学でさらに学びます。

新年度皆さんはそれぞれ目標を立てていただきたいのですが、特に新3年生は進路と併せて考えていただければと思います。共に頑張っていきましょう。

以上で校長講話とします。

(令和8年4月7日、始業式)